

すこやか

シルバー人材センターの基本理念

- 「自主」 自分のものとして考え
- 「自立」 自分達で育てる
- 「共働」 一緒になって働き
- 「共助」 お互いに助け合う

令和2年3月1日発行

第15回

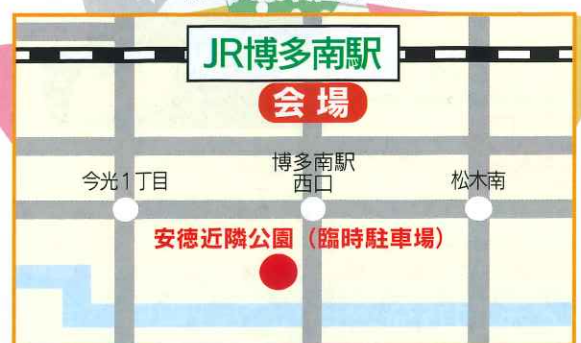
シルバーすこやかまつり

2020.3.15 (日) 11:00 ~ 15:00

博多南駅前公園 駅ビル2Fデッキ / 安徳近隣公園 臨時駐車場



【会場案内図】



主催：公益社団法人
那珂川市シルバー人材センター
シルバーすこやかまつり実行委員会

お問合せ：(092) 953-4165

協力団体：指定管理者
共栄ロードサービス株式会社

シルバー事業普及啓発活動

毎年10月は全国一斉に「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と定められており、筑紫地区5市のシルバー人材センターにおきましても共同してキャラバン隊を編成し、各自治体を巡回して普及啓発のキャンペーンを行っております。

今年度は10月16日（水）に実施いたしました。本市においては市役所玄関前に役員及び会員さんが多数集まって要望活動を行ったところです。最後に副市長より温かい励ましの言葉を頂き、普及啓発活動の重要性を認識したところです。

事務局



会員のひろば

ダンス命

社交ダンスは子どもから高齢者、障がい者と全ての人たちが生涯に渡ってできるスポーツです。

体力の向上・脂肪燃焼・心肺機能アップ・脳の活性化・老化防止アンチエイジングと、あげたら切りがありません。姿勢もよくなり若く見られますよ（笑）

音楽のリズムに合わせて踊る楽しみや、人々との出会いの楽しさを味わってみませんか？

30歳半ばに先輩に勧められ、公民館に行って出会ったのが社交ダンスでした。ダンスはパーティやサークルなど楽しめる機会がたくさんあります。

私は今、一年に20回程度、九州全県で開催されるダンスの競技会に出場しています。一番近くの競技会は3月末に宗像ユリックスで開かれますが、見たことのない方は一度煌びやかで知らない世界を覗いてみませんか？

千々和 久美子会員



会員研修会を開催しました

防犯研修会

令和元年10月31日（木）那珂川市 安全安心課の^{かわうちの}川内野秀彦氏を迎え、「高齢者が狙われる二セ電話詐欺について」様々な手口の話があり、防犯研修会が行われました。

二セ電話詐欺に人はなぜ騙されるのか。煩惱（人間の欲望）に付け込まれ、詐欺師がいろいろな話をしながら心の扉を開けます。詐欺グループは、人のあらゆる心理のパターンを想定し練習しています。一人では対応出来にくく、付け込まれる恐れがあります。心の扉を開けられる鍵（切っ掛け）を詐欺師に見つけられないこと。最初が肝心です。もしもの時のために、事前に断りの文句を考えておく。また、相談する窓口（警察、消費者生活センター、法テラス等）も確認しておくこと。自分自身の性格や心理を分析しておくことも良いでしょう。



まっ太くん

詐欺にあわないための対策として、詐欺電話防止装置の設置、留守番電話にしておく、ナンバーディスプレイ付き電話であれば、知らない電話番号については出ないなど。

詐欺にあわないため、実際の生活でどう活かすか、自分なりの対策を見直す良い機会となりました。

木下 正秀

接遇研修会

令和元年11月29日（金）講師に福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校の嶋野智子氏を迎え、接遇研修会が行われました。

今回の研修は、最近よく耳にする「SNS」という話から始まりました。今は平成生まれの方もお客様で、スマホ、タブレット、パソコンなどを使いこなしています。「SNS」とはソーシャル（社会的な）ネットワーキング（繋がり）を提供するコミュニケーションサービスで、フェイスブック、LINE等インターネットのアプリがあり、気になる話や物事を写真や動画ですぐに投稿され、一瞬にしてネット社会へ拡散します。一人のミスがシルバー人材センターの信頼を失墜させてしまいます。



お客様のために、相手の気持ちを考えて行動し、プロ意識を持つこと。自分がやれることは何か？

『キチンと笑顔で挨拶』『必ずメモを取る』『チームワーク（相互に気づかいと思いやり）を大切に』。

笑顔で挨拶を行う実技講習、グループごとの伝言ゲーム等を通して、不快な思いをさせないための態度や言葉使いを実践し、意識と行動を確認した研修会でした。

木藤 絹代

人権研修会

令和元年11月29日（金）那珂川市人権政策課社会同和教育指導員のの小野弘敏氏を講師に迎え「差別問題」について講演を受けました。

始めにDVDを見ながら、外国人に関する人権問題、職場、教育現場での差別について、三つの例をあげて話をされました。

外国人に対する偏見、それによっておこる、ヘイトスピーチ（外国人を差別し追放する事）、汚い言葉や嫌がらせ等で、外国人を排除しようとする日本人がいることに心が痛みました。このような差別を無くす為には、互いの文化を尊重し、相手を認め相手の身になって考える、私達一人ひとりが意識を高め、



外国人が日本は良い国だと思ってもらえる様に、ヘイトスピーチを許さない日本人になりたいと思います。

渡邊 章子

ぶらり那珂川散歩【第6回】

～市ノ瀬～

まがいぶつ
磨崖仏

西岸寺跡から三町(約330m)ばかり進んで南に山を登ると、高さ2mの巨石があり、そこに「八幡大明神」「春日大明神」と刻まれた磨崖仏があります。

明治20年頃村人が偶然発見したもので、上半身は仏様であり、下半身は袴を穿き靴を履いた神様で、背に光輪を頂き、右手に剣を左手に宝珠を抱いている姿からして神仏混淆姿ではあるが、もとは神様であろうといわれています。「おだいにちさま」と呼ばれて近隣の人に祀られてきました。

つっぱり石

市ノ瀬につっぱり石というのが 있습니다。むかし五ヶ山の子どもたちも南畑小学校に通っていて、道の横に突き出た大岩に子どもたちは運動会や遠足の時など、天気が良くなるようにまじないをしたそうです。

道路に沿って小さな溝が流れており、溝の向かい岸は高い土手になっています。その土手の中ほどににゅっと天狗の鼻のように突き出た大岩を竹などでつっぱれば天気は晴れ、溝の水をかき混ぜて濁らせると雨になると云われてきました。

※見学の際は、危険を伴う場所もありますので、充分ご注意ください。



文責：木下 正秀
写真：堀口 恭司

令和2年 私たち年男・年女!



当センターの会員で子年生まれの方は、26名(昭和11年生9名、昭和23年生17名)です。シルバーの仕事だけでなく、愛好会も趣味もと皆さん元気に活躍されています。これからも体に気を付けて活動してくださいね。

編集後記

皆さん、令和元年をどう感じられましたか？

私にとって令和元年は新天皇即位やローマ教皇の来日など、明るい未来が期待できると思わせる年でした。

これからの日本は、確実に少子高齢化が進みます。いろいろな経験・技能を持ったシルバーが大きな役割を担う時代になります。

つまり「シルバーの力が日本の力」になるということではないでしょうか。

広報委員一同、令和2年も張り切って「すこやか」を作成します。

荒木 ふじ子